

2023年度 事業報告概要（案）

1. 事業活動報告概要

2023年度は新中期計画の初年度であり、中期計画を着実に立ち上げるために重要な年です。会員数が1,000社を超えたSIAAの現状と将来の姿も見据え、次項の重要課題を中心に活動を進めました。

新中期3ヶ年計画

・SIAAの将来ビジョン

SIAAは、抗菌、防カビ、抗ウイルス、抗バイオフィルムの多くの機能において消費者に安心・安全・快適を提供します。具体的には、国内外の多数の加工製品メーカーがSIAAの会員となっており、その製品にはSIAAマークが表示されています。SIAAマークは、消費者の皆さんにとって、ご購入やご使用の際の安心と安全の証となっています。

・SIAAのパーパス（存在意義）

SIAAは、“菌・ウイルス・カビ”などに関する衛生について、消費者に安心・安全・快適を提供します。

・基本行動方針

- 1) SIAAマークが、消費者にとって、対象製品の安心と安全の証となるように、より信頼性を向上させます。
- 2) SIAAマークの認知度や評価をより向上させ、会員企業の参加満足度を高めます。
- 3) SIAAマークシステムを、グローバルで確立し、必要とされる海外地域に広がります。

アフターコロナとなり、コロナ禍の時に比べて入会会社数が減少したものの75社の入会がありました。一方で、114社の退会と特別会員が2名減少したため、会員数は2022年度末から41社減少し、2023年度末で1,169社になりました。

SIAAの活動にも制限がなくなり、理事会や委員会等は会場参加者が増え、活発な議論がなされました。管理責任者講習会も従来同様、会場とオンラインとの併用で開催し、多くの方々に参加いただきました。

2. 重点課題（番号は上記の基本行動方針に対応しています）

上記のビジョンや行動方針を基に設定した、次の9つの重点課題を踏まえ、各委員会で議論しながら活動を進めました。

1-1) 印刷カテゴリーの信頼性向上への取り組み

2020年度から印刷物の登録が急増しましたが、紙の印刷物の抗菌効果を適切に評価できる試験方法をSIAAとして定めていませんでした。本年度も紙印刷物に対する抗菌試験方法を継続して検討した結果、一定の目途を得ました。また、紙印刷物特有の課題やそれらへの取り組み等を検討するため、印刷準備委員会の設置に向けた準備を進めました。

1-2) 定期登録更新制度の導入

会員企業の情報、登録製品情報、品質管理状況及び法令遵守状況等、入会時に提供いただいている情報を定期的に更新する定期登録更新制度を導入しました。本年度は、その実施を定めたマニュアルを策定しました。また、2019年以前の入会会社（約240社）に品質管理に係る情報提供を依頼し、内容を確認すると共に必要に応じてアドバイスしました。

1-3) 市場SIAA登録製品の買い取り検査制度

消費者からの更なる信頼性向上を目的とした制度として、SIAA設立当初から実施してきた「市場買い取り調査」と2021年度から開始した「定期的性能チェック制度」があります。前者の制度をブラッシュアップするため、規定及びマニュアルを見直し、基準を満たさない製品への対応等を明確にしました。2023年度は抗ウイルスフィルム製品を買い取り、抗ウイルス効果を確認しました。抗ウイルス活性が基準を満たしていない製品に対しては、是正を依頼しました。

1-4) 表示・訴求のコンプライアンス遵守

「加工製品の広告表記に関するガイドライン」を定め、加工製品の広告表記等において薬機法や景表法に抵触しないよう、会員の皆様をお願いしてきました。本年度も、入会時における広告表記等の確認に加え、管理責任者講習会で啓蒙活動を進めました。

1-5) カテゴリーの拡大

2020年度にISO化提案した「抗バイオフィルム試験方法」は、2023年7月にISO 4768として発行されました。その試験方法を用いた種々のサンプルの評価を継続して行うと共に、2024年7月からの「抗バイオフィルム加工製品（付着抑制）」の登録制度運用に向けた準備を進めました。

抗ウイルス加工剤の評価方法及び抗ウイルスシェイク法（SIAA法）を確立し、それらの試験方法を用いた製品登録を2023年7月1日から開始しました。

新カテゴリーの候補として検討を進めてきた抗アレル物質は、「抗アレル委員会」として次のステップに進め、絞り込んだ試験方法での評価を進めました。今後、評価条件の最適化及び運用等に関し検討を進めます。

2-1) 認知度や評価の向上

2022年度に消費者を対象とした認知度調査を実施しました。今後は、エンドユーザーを対象とした調査を中計2年目を実施することとしました。

認知度向上の一環として、キャラクター「衛生ヒーロー」を設定し、HPへの掲載や国際福祉機器展での広報活動に用いると共に、会員企業が使用するためのガイドラインを設定しました。

また、9月9日をSIAAの日（例：SIAA抗菌の日）とし、今後、この日を他団体（SEK、PIAJ等）とも共有し「抗菌の日」として日本記念日協会への登録を検討します。

2-2) 参加企業の満足度を把握することの検討

会員企業の満足度向上を目的として、満足度調査を中計2年目以降に実施する予定としました。また、2022年度及び2023年度の退会会社の退会理由や登録製品等を整理しました。主な退会理由は抗菌事業からの撤退でした。

3-1) グローバル視点での取り組み

特定のテーマだけでなく、SIAAの多くの活動をグローバル視点で取り組むよう、進めました。

TC 330（表面の殺生物活性及び有効性に関する試験方法の標準化）に、国内審議団体（Oメンバー）として参加し情報収集に努めました。

これまで防カビ製品の登録は国内企業のみとしていましたが、それを見直し、他の製品カテゴリーと同様に海外企業も登録可能としました。

中国・香港会員向けの初めての管理責任者講習会を、2024年1月に開催しました。今後も、海外会員向けの講習会開催を企画検討します。

3-2) SIAA システムのグローバル化

コロナ禍等により活動に制限のあったSIAAシステムのグローバル化を再検討し、必要とされる国・地域への支援を進めました。具体的には、台湾現地関係会社の協力を得、SIAA台湾支部を設立し活動を開始しました。また、韓国に対しては、K-BPR施行も踏まえKIAAの活性化に向けた活動を継続しました。

3. その他の重要項目

- (1) ホームページのデザインをリニューアルすると共に、画面上部にメニューを固定配置し、どのページからでも目的のコンテンツへ移動できるよう、使い易くしました。
- (2) JIS Z 2911（かび抵抗性試験方法）の原案作成団体として、JIS改正委員会を組織し、対応するISO 846の改正及び委員からの要望を踏まえ、該JISを改正しました。
- (3) SIAA会報誌『暮らしの中のSIAA』を2022年度から発刊しており、会員から好評をいただいています。2023年度は25周年記念号を含めて3回発刊しました。
- (4) 防カビ加工製品の登録は増加しているものの、抗菌や抗ウイルス加工製品の増加ほどではないため、会員企業に対して防カビに関するアンケートを実施し、現状を把握すると共に課題を明確にしました。今後、対応策を詰めSIAA防カビ製品の普及・広報を進めます。

以上

一般社団法人 2023年度 収支決算

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	2023年度 予算額 (円)	2023年度 決算額 (円)	比較増減	備考
	(A)	(B)	(B-A)	
収入の部				
年会費	146,200,000	139,673,483	△ 6,526,517	2022年度末会員数:1210社 国内 1083 海外 127 (正会員 1178、賛助会員 10 特別会員 10、準会員 12) 2023年度末会員数 1169社 国内 1027 海外 142 (正会員 1142、賛助会員 11 特別会員 8、準会員 8) 退会 116
入会金	10,000,000	7,810,047	△ 2,189,953	入会75社(国内 52、海外 23)
講習会収入	3,000,000	2,472,926	△ 527,074	管理責任者、試験管理士フォロー アップ研修
総会・懇親会参加費			0	
試験方法ISO化収入			0	
JIS改正原案作成収入		286,364	286,364	
抗菌技能試験収入	1,170,000	1,121,497	△ 48,503	試験参加費
寄付金収入			0	
ホームページ広告収入	2,880,000	2,680,000	△ 200,000	12社
生命保険料返戻金			0	
雑収入		122,321	122,321	
収入合計	163,250,000	154,166,638	△ 9,083,362	
支出の部				
諸会議費	3,500,000	4,380,493	880,493	総会、理事会等会議費
委員会活動費	37,050,000	37,079,375	29,375	別紙参照
業務委託費	26,600,000	27,138,230	538,230	事務局人件費(1名増)※退職金含
旅費交通費	3,000,000	3,233,535	233,535	事務局・講師交通費等
印刷費	4,000,000	4,631,021	631,021	総会資料等印刷費、コピー代
通信運搬費	600,000	475,489	△ 124,511	電話、郵送、HP接続料、
事務所費	9,200,000	7,848,000	△ 1,352,000	事務局家賃
光熱水料費	550,000	514,159	△ 35,841	光熱水道料
備品費	800,000	668,700	△ 131,300	PC周辺機器、ソフト代、机等
修繕費			0	
事務用品費	200,000	101,202	△ 98,798	文具代、コピー用紙、封筒代等
租税公課	50,000	36,400	△ 13,600	
減価償却費	220,000	193,470	△ 26,530	
福利厚生費	85,000	82,089	△ 2,911	健康診断関係
厚生費	50,000	27,273	△ 22,727	表彰、報奨会員
図書費	100,000	112,638	12,638	新聞、学会誌、書籍代等
渉外費	800,000	797,024	△ 2,976	プラ工連等団体費等
支払手数料	4,000,000	5,613,714	1,613,714	振込手数料、経費処理費
特別活動費			0	顧問等活動費、特別企画費
試験方法ISO化支出			0	抗バイオフィルム
抗菌技能試験支出	600,000	838,864	238,864	
JIS改正原案作成支出			0	
定期的性能チェック制度	15,000,000	12,601,819	△ 2,398,181	預り分相殺済
ホームページ管理委託費	4,000,000	2,997,950	△ 1,002,050	
ホームページ改訂費			0	
基準調査研究支出			0	
諸雑費	1,200,000	3,076,072	1,876,072	事務局経費(販促品等含む)
貸倒損失			0	
予備費	100,000		△ 100,000	
社会保険料	2,200,000	2,774,834	574,834	健康保険、厚生年金保険
保険料	3,363,379	3,363,709	330	傷害保険、生命保険
為替差損			0	
法人税等	15,174,000	9,464,700	△ 5,709,300	法人税率26.6%
支出合計	132,442,379	128,050,760	△ 4,391,619	
収支差額	30,807,621	26,115,878	△ 4,691,743	
次期繰越金	30,807,621	26,115,878	△ 4,691,743	

2023年度 委員会活動費 決算

支出の部

	2023年度 予算額 (円) (A)	2023年度 実績額 (円) (B)	比較増減 (B-A)	備 考
委員会活動費				
中期計画戦略委員会	300,000	277,628	△ 22,372	
国際展開委員会	3,000,000	2,372,447	△ 627,553	
SIAA広報委員会	8,100,000	6,582,721	△ 1,517,279	
技術・制度運営委員会	6,000,000	8,422,802	2,422,802	
安全性委員会	150,000	176,173	26,173	
防カビ委員会	2,500,000	1,343,526	△ 1,156,474	
抗ウイルス委員会	3,600,000	1,852,041	△ 1,747,959	
バイオフィルム標準化委員会	9,400,000	11,080,322	1,680,322	
抗アレル物質準備委員会	4,000,000	4,971,715	971,715	
合 計	37,050,000	37,079,375	29,375	